

## 2020年度 年末手当シリーズ③7

東日本ユニオン 中央本部

# これが現場社員の声だ！

経営側には“ただただ”この間の交渉で組合側に主張してきたことを責任持って実行して欲しいというだけです。「業績連動ではない」「安定支給」は全部、経営側自身が言ってきたことです。今こそ有言実行のときです！

業績が悪いから「カットする」というのであれば、どんなに努力をしても、厳しくなれば「結局は切り捨てる」というメッセージとして受け止めます。

今だけでなく、これから先の信頼とモチベーションに関わってきます。黙っていても社員はみんな見ていますよ！

コロナに負けず頑張ろう！完全勝利において頑張ろう！

地方からも頑張って**要求満額回答**を勝ちとるぞ！未来につなげよう！

会社は「働きがい追求する」と言うが、自分の趣味にお金をかけてストレスを解消しているのに、それさえ抑え付けられれば、働きがいも何もない！

現場ではコロナの感染を恐れ、日々業務を遂行している今、会社はその社員に対して、納得のいく回答を示すべき！！

低額予想するのは自由です。しかし、いくら要求するかも自由なはずです！働く我々が要求しなければ、誰が要求してくれるのでしょうか？

JR東日本で働くみなさん！ともに声をあげ、**満額獲得**におけ行動しましょう！

設備投資は変わらず行っているなら、社員投資も変わらずに行うべき！社員投資は賃金であるし、社員一律に得られるのがボーナスである。低額で抑えられた夏を取り戻すためにも、年末手当の**満額回答**を勝ちとろう！

会社を支える仕事をしているという自負があります！今後も同じレベルの仕事、またはそれ以上の仕事をしていくために、**満額回答**を！

子育てに、住宅ローンにお金がかかっています。生活あってこそその仕事です！

少ないと住宅ローンが払えません。「GO TO」もしたいのに、少ないボーナスでは行けません。家族を鉄道旅に連れて行きたいのに…。